



写真：武蔵野美術大学 美術館・図書館 民俗資料室

民具は、
もっと楽しめる。

◆ 講演会 「美大発！民具“楽”の提唱 - 民具=「生活の造形アーカイブ」の活かしかた -」

2025.10.18 Sat. 13:30-16:00

香川県立ミュージアム 講堂

高松市玉藻町5-5
TEL 087-822-0002

*瀬戸内海歴史民俗資料館では
ありません。会場にご注意ください。

グローバル化が進展し、大量生産・消費社会の行き詰まりを迎える一方で、ローカルなもの、身の丈を超えないもの、個人の語りやストーリーへの共感といった小さな営みが、現代社会において極めて重要なものとなっています。コレクションを基点に様々な背景を持つ人々が関わり合うミュージアムという場の役割も、大きく変化してきています。

この講演会では、美術大学での様々な実験的な展示やワークショップ、民具を用いた授業などを紹介します。民具をとことん楽しむ民具“楽”と、物質文化研究としての民具“学”の、両方を推進するミュージアムの活動から、コレクションを残し、活かすことの意義について問題提起します。



加藤 幸治 KATO, Koji
武蔵野美術大学教授
同美術館・図書館副館長

1973年生まれ。武蔵野美術大学教養文化・学芸員過程教授。専門は民俗学(民具研究)。主な著書に『民俗学 フォークロア編 過去と向き合い、表現する』(2022)、『郷土玩具の新解釈 -無意識の“郷愁”はなぜ生まれたか』(2011)ほか、監修書に『民具のデザイン図鑑』(2022)などがある。

[プログラム]

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 報告「瀬戸内海歴史民俗資料館の活動の現状
-時代・社会の変化のなかで-」
田井静明 (瀬戸内海歴史民俗資料館専門職員)
- 14:05 休憩
- 14:20 講演「美大発！民具“楽”の提唱
-民具=「生活の造形アーカイブ」の活かしかた-」
加藤幸治氏 (武蔵野美術大学教授)
- 16:00 閉会

- 定員 230名(要事前申込・先着順)
- 参加費 無料
- 申込方法 電話、「香川県電子申請・届出システム」を利用したインターネットでお申し込みください。
*インターネットからのお申し込みは、瀬戸内海歴史民俗資料館ホームページ右下の「関連リンク」から「香川県電子申請・届出システムのページへ」をクリックしてください。
- 申込先 瀬戸内海歴史民俗資料館
(連絡先等は裏面参照)

◆ 連続講座 「戦後香川のデザインを考える」

無料・要申込

会場：瀬戸内海歴史民俗資料館 時間：10:00～11:30 定員：40名(先着順)

第1回 「世界に誇る香川ローカルデザイン」

講師：中條 亜希子（高松市屋島山上交流拠点施設やしまーる館長）

香川には美しい建築、インテリア、芸術作品などが数多く存在し、それを一目見たいと世界から観光客が訪れています。人々を魅了するデザインはどのように生まれたのか。先人たちが郷土愛を持ちつつ進めたデザインの歴史をご紹介します。

【講師紹介】兵庫県西宮市出身。大学卒業後、情報通信会社などを経て、2009年より高松市歴史資料館の学芸員。2022年やしまーる館長に就任。

第1回
9/27
(土)

第2回 「昭和30～40年代の新民芸創出について 一県施設の活動を中心として」

講師：田井 静明（当館専門職員）

昭和30～40年代にかけて、栗林公園商工奨励館や県技術開発センターデザイン指導室を舞台に取り組み、新たな産業工芸としての新民芸創出の取り組みを紹介します。

第2回
10/4
(土)

第3回 「デザイナー和田邦坊の秘密」

講師：西谷 美紀（灸まん美術館副館長・学芸員）

香川県が生んだマルチクリエイター和田邦坊。昭和30～50年代、地元の物産パッケージを数多く手掛けた人物です。今回は、日常に溶け込んだ邦坊作品の特徴、制作エピソードなどデザインの秘密についてご紹介します。

【講師紹介】高松市出身。大学卒業後、香川県や高松市の文化施設にて文化財業務に携わる。2018年、灸まん美術館の学芸員に就任。2025年、同館副館長に就任。

第3回
11/1
(土)

もつと知りたい、
あの頃のこと。

◆ トークイベント 「香川のモノづくりとデザイン」

無料・要申込

会場：高松市屋島山上交流拠点施設やしまーる 時間：13:30～15:00 定員：40名(先着順)

11/8
(土)

連続講座全3回の講師が一堂に会し、戦後香川におけるデザインや和田邦坊の活動、産業工芸に関わる取り組みなど、それぞれの視点から本展を振り返り、語り合います。

講師：中條亜希子(やしまーる館長)、西谷美紀(灸まん美術館副館長・学芸員)
田井静明(当館専門職員) [聞き手] 松岡明子(当館館長)

*いずれも無料・要事前申込／申し込み・問合せは瀬戸内海歴史民俗資料館へ(下記参照)

【申込方法】いずれも電話、「香川県電子申請・届出システム」を利用したインターネットでお申し込みください。
※インターネットからのお申し込みは、瀬戸内海歴史民俗資料館ホームページ右下の「関連リンク」から「香川県電子申請・届出システムのページへ」をクリックしてください

主催：瀬戸内海歴史民俗資料館／協力：高松市屋島山上交流拠点施設やしまーる(連携企画)

瀬戸内海歴史民俗資料館

Seto Inland Sea Folk History Museum

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで) 入館無料
休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌火曜日)

〒761-8001 高松市亀水町1412-2
TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784
https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/



◎JR 高松駅から車で約25分・JR 坂出駅から車で約30分
◎徳島方面から…高松自動車道権紙ICより車で約30分
◎岡山方面から…瀬戸中央自動車坂出北ICより車で約30分
◎愛媛・高知方面から…高松自動車道坂出ICより車で約35分
*いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由
◎駐車場：普通車30台、大型バス可

